

第47回

NHK杯全国高校放送コンテスト

神奈川大会

予選 2000年6月 4日(日) AM9:00~
本選 2000年6月18日(日) AM9:15~
場所 法政大学第二高等学校

主催 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

N H K 横 浜 放 送 局

後援 神奈川県教育委員会

有 隣 堂

朝 日 新 聞 社 横 浜 支 局

神 奈 川 新 聞 社

主管 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会

目次

* 大会実施要領	2
* 日程[予選・本選]・開閉会式次第	3・4
* 会場案内図	5・6
* 出場者及びエントリー一覧	
アウンス部門 [予選AB]	7・8
朗読部門 [予選ABC]	9・10
創作ラジオドラマ部門 [予選AB]	7
創作テレビドラマ部門	8
研究発表部門	8
ラジオドキュメント部門	10
テレビドキュメント部門	10
* 審査の観点	11
* 役員一覧	12
* 審査員一覧	13
* 役員校・委員校 業務分担	14
* 出場校及び参加部門本数一覧	15

第47回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会 実 施 要 領

1. 目 的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、高等学校の特色ある教育活動の中核となる校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2. ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学園生活の中にうるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 発展する社会に対し、放送の果たす役割を学ぶ。
- (5) 国際理解を深め、人間尊重の心を培う放送の働きを確かめる。

7. 表 彰

		高視研会長賞 及びトロフィー	優良賞	奨励賞
研究発表	1位	参加数による	同左	
アナウンス・朗読	各1位	各1～4位	各5～9位	各10～19位
ラジオドキュメント	1位	1～4位	5～9位	10～14位
テレビドキュメント	1位	1～4位	5～9位	
創作ラジオドラマ	1位	1位	2～3位	4～8位
創作テレビドラマ	1位	1位	参加数による	参加数による

* 優良賞・奨励賞については参加数によって増減することがあります。

- ・総合優勝：NHK横浜放送局長賞 及び 同杯
- ・総合準優勝：有隣堂賞 及び 同杯
- ・総合第3位：高視研会長賞 及び 同杯
- ・アナウンス部門1～4位までの生徒には、神奈川高校芸術祭の開会式と閉会式の司会進行をお願いします。詳細は、全国大会出場説明会の時に連絡します。

8. 全国大会への推薦

入賞者および入賞作品を、上位より順に全国大会要領により推薦します。

予選日程(6/4)

8 : 3 0	委員校、役員校集合
9 : 0 0 ~	審査員（顧問）打ち合わせ
9 : 0 0 ~ 9 : 3 0	受 付
9 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0	開会式（木月総合会館にて）

<開会式>

1. あいさつ
高視研会長 渡 辺 浩 司
2. 第46回大会総合、準優勝杯返還
 - ・NHK杯（総合優勝杯）返還 法政第二高等学校
 - ・有隣堂杯（総合2位杯）返還 県立六ツ川高等学校
 - ・高視研会長杯（総合3位杯）返還 相模女子大高等部
県立座間高等学校
3. 第47回大会実施上の注意 総合審査副委員長 吉田 智彦

1 0 : 0 0 ~	審査開始
1 2 : 0 0	午前の部終了

< 昼 食 時 間 >

1 3 : 0 0 ~	午後の部開始
1 6 : 0 0	審査終了
1 6 : 3 0	結果発表（本部）
1 7 : 0 0	全員退校

本選日程(6/18)

8 : 3 0	委員校、役員校集合
9 : 0 0 ~	審査員(顧問)打ち合わせ
9 : 1 5 ~ 9 : 4 5	受 付
1 0 : 0 0	審査開始
1 2 : 0 0	午前の部終了

< 昼食時間・予選落選作品返却 >

1 3 : 0 0	午後の部開始
1 5 : 0 0	審査終了
1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0	閉会式

< 閉会式 >

1. あいさつ	大会会長	NHK横浜
2. 審査講評	各部門審査チーフ・特別審査員(NHK横浜)	
3. 結果発表	審査委員長	渡辺 亨
4. 賞状・トロフィー授与	大会会長	渡辺 浩司
5. 閉会の辞	〃	渡辺 浩司
0. 諸連絡	実行委員長	中津川 雅則

-
- ・ 午前の部の終了時刻と午後の部の開始時刻は、審査会場によって異なります。
特にアナウンス部門、朗読部門の出場者は注意して下さい。
 - ・ 委員校、役員校の生徒は、指示に従って会場準備を行って下さい。
 - ・ 閉会式終了後、以下の該当者は閉会式で連絡された集合場所に必ず行って下さい。
* 全国大会出場者(校) * 上位入賞者の賞状配布 * 本選出場作品の返却

2000年6月4日(日) 法政大学第二高等学校

予選会場案内図

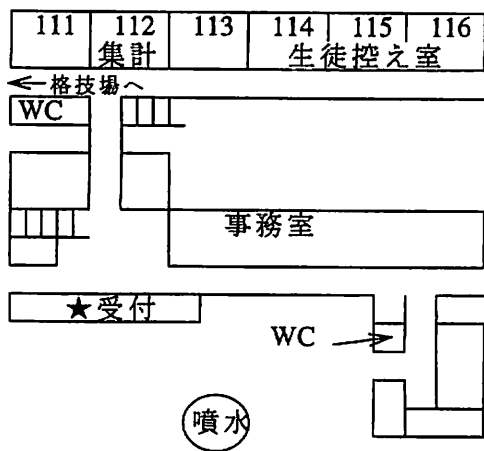
総合受付 2号館1階

開会式会場 木月総合会館(体育館)

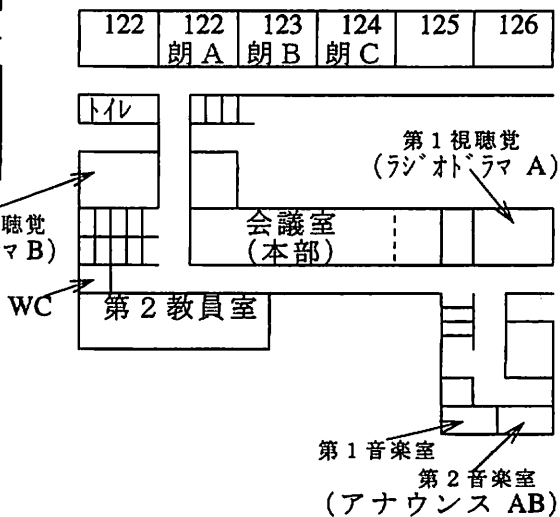
アナウンスA	第1音楽室(2号館2階)	朗読A	122教室(1号館2階)
アナウンスB	第2音楽室(2号館2階)	朗読B	123教室(1号館2階)
創作ラジオA	第1視聴覚室(2号館)	朗読C	124教室(1号館2階)
創作ラジオB	第2視聴覚室(2号館)		

本部 会議室(2階) 委員校・役員校 会議室(本部横)
 練習場所 噴水周辺(雨天時:格技場横渡り廊下)
 生徒控室 114, 115, 116教室
 他^の場所では、練習をしないこと。

【1階】



【2階】



※WCと書かれたところには
 女子トイレがあります。

2000年6月18日(日) 法政大学第二高等学校 本選会場案内図

総合受付 2号館1階

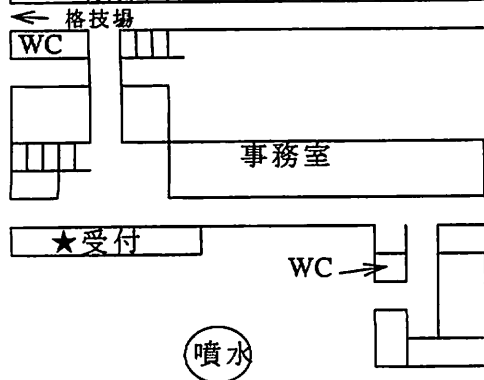
閉会式会場 木月総合会館

アナウンス 第1音楽室 (2号館2階)
朗読 第2音楽室 (2号館2階)
テレビドキュメント 122教室 (1号館2階)
創作テレビ 124教室 (1号館2階)
ラジオドキュメント 第1視聴覚室 (2号館2階)
創作ラジオ 第2視聴覚室 (2号館2階)
研究発表 122教室 (テレビドキュメント審査終了後)

本部 会議室 (2階) 委員校・役員校 第4会議室 (2階)
練習場所 噴水周辺 (雨天時: 格技場横渡り廊下)
生徒控室 114, 115, 116教室
他の場所では、練習をしないこと。

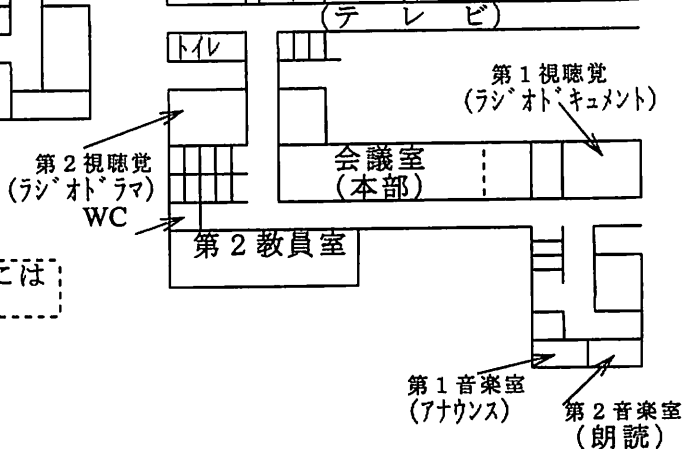
【1階】

111	112	113	114	115	116
	集計		生徒控え室		



【2階】

121	122	123	124	125	126
	ドキュ		ドレ		
(テレビ)					



※WCと書かれたところには
女子トイレがあります。

たかみ 1832
 かしこ / 12月 16日
 4
 美保子

出場者およびエントリー一覧
 (アナウンス部門)

(A会場)				(B会場)			
No	学校名	氏名	学年	No	学校名	氏名	学年
1	私立退子開成	間永 洋一郎	2	34	私立湘南工科大学付属	南條 智子	2
2	県立生田	新 千穂	3	35	私立東海大付属相模	難波 達郎	3
3	県立大和東	阿部 千裕	1	36	私立法政大学第二	仁加保 徹	3
4	県立大和東	阿部 真弓	1	37	県立豊田	西ノ内 志帆	3
5	市立戸塚	新井 翔二	2	38	県立橋須賀	西村 珠美	3
6	県立市ヶ尾	新井 由希子	1	39	県立新栄	野中 恵	2
7	県立相模田名	荒木 早未	2	40	県立座間	萩原 美由紀	2
8	私立横浜女学院	安谷屋 美紀	2	41	県立横浜日野	橋本 直美	3
9	県立金井	飯田 早苗	1	42	県立座間	橋本 有紀	1
10	県立座間	飯田 美果	2	43	私立法政大学第二	幡野 裕樹	2
11	県立永谷	飯塚 晃子	2	44	県立新城	服部 乃梨子	1
12	私立相模女子大学	石井 麻子	3	45	市立金沢	花田 賢太	3
13	県立大和東	石岡 利紗	1	46	県立追浜	羽布津 浩義	3
14	私立東海大付属相模	石橋 知佳	1	47	県立大師	原田 文	2
15	私立日本大学藤沢	伊藤 笑子	2	48	県立多摩	東 香緒里	2
16	県立大師	伊藤 健太郎	1	49	私立鶴見女子	平本 礼佳	3
17	私立東海大付属相模	伊藤 真奈美	1	50	市立金沢	深田 智得	1
18	私立法政大学女子	井上 妃	3	51	県立大和東	福田 健	1
19	県立磯子	岩壁 有希	2	52	市立戸塚	福田 育実	3
20	川崎市立商業	岩澤 亜沙美	1	53	私立法政大学女子	藤田 悠海子	2
21	私立鶴見女子	岩波 友里	3	54	県立神奈川総合	松野 純	3
22	県立平塚江南	岩見 知佳	3	55	捜真女学校	松谷 みどり	1
23	県立市ヶ尾	宇野 智恵	2	56	私立日本大学藤沢	三浦 紗穂	2
24	私立相模女子大学	海老澤 菜夕	1	57	川崎市立川崎	宮川 萌	2
25	日本大学	遠藤 美沙子	2	58	県立六ツ川	宮城 滯	2
26	県立鶴見	大石 奈穂子	1	59	県立鶴見	持丸 愛	1
27	県立大和西	大島 千佳	2	60	私立東海大付属相模	八重嶋 香里	2
28	捜真女学校	大関 智子	1	61	県立多摩	矢島 悠子	3
29	県立六ツ川	大野 鉄也	3	62	私立法政大学第二	山口 大輔	3
30	川崎市立商業	大湯 替久	2	63	私立湘南工科大学付属	山下 由花	2
31	県立金井	岡田 星葉	1	64	私立日本大学藤沢	山田 実樹	2
32	県立多摩	納 美保子	1	65	県立東金沢	吉田 裕美	3
33	県立海老名	落合 洋子	2	66	県立新城	渡部 保代	2

【創作ラジオドラマ部門】

(A会場)				(B会場)			
NO	学校名	氏名	学年	NO.	学校名	氏名	学年
1	私立鶴見女子高等学校	我妻 由季子	3	1	県立平塚江南高等学校	福永 佳子	3
2	私立東海大付属相模	阪本 雄介	3	2	横浜市立金沢高等学校	野崎 奈緒美	2
3	県立海老名高等学校	吉田 奈央	3	3	県立有馬高等学校	石川 祐	3
4	県立座間高等学校	山中 武	3	4	県立足柄高等学校	背木 美砂子	3
5	県立神奈川工業高校	沼田 臨	2	5	川崎市立商業高等学校	香月 由希	3
6	県立大船工業技術高校	瀬戸 健太郎	1	6	県立相模田名高等学校	青山 直子	3
7	県立金井高等学校	小島 将太	2	7	県立市ヶ尾高等学校	木村 真人	2
8	県立豊田高等学校	山本 明日香	3	8	県立大師高等学校	原田 文	2
9	私立日本大学高等学校	山本 達彦	2	9	法政大学第二高等学校	加藤 大樹	3
10	私立日大藤沢高等学校	伊藤 笑子	2	10	県立神奈川総合高校	朝倉 智子	2
11	県立橋須賀高等学校	西村 珠美	3	11	県立永谷高等学校	高橋 愛	2
12	私立法政大学女子	井上 妃	3	12	県立六ツ川高等学校	清水 勇次	3
13	私立麻布大付属淵野辺	三戸 一晃	2	13	県立多摩高等学校	長部 智樹	2
14	県立相模大野高等学校	山下 淳也	2				

8

(B会場)

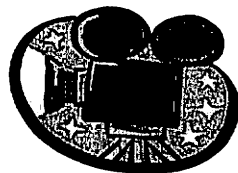
1	県立新城	小野 里沙	3	34	市立戸塚	山王 真理子	1
2	県立横浜日野	垣田 美幸	3	35	県立栢生西	島本 美香	2
3	県立相模田名	梶原 崇	2	36	県立六ツ川	地村 怜	3
4	県立足柄	片岡 友葵	1	37	県立新城	下垣内 裕香	1
5	私立湘南工科大学付属	加藤 真里	3	38	私立法政大学女子	正垣 知美	1
6	県立鶴見	金子 美沙	1	39	県立横浜翠嵐	白木 優香	1
7	県立東金沢	鹿又 正行	2	40	私立相模女子大学	新藤 ちひろ	1
8	県立横浜翠嵐	神村 絵織	1	41	県立大師	新名 啓子	1
9	県立東金沢	亀ヶ谷 慶子	3	42	県立座間	鈴木 砂登美	1
10	県立生田	亀沢 尚美	1	43	私立横浜女学院	鈴木 亨枝	1
11	私立鶴見女子	川満 瑛里香	3	44	県立追浜	鈴木 美園子	1
12	県立相模田名	岸 真澄	3	45	県立栢生	鈴木 裕子	2
13	県立磯子	北村 結	3	46	県立永谷	鈴木 雄太	2
14	私立相模女子大学	木村 さやか	3	47	県立鶴見	須藤 花林	2
15	県立東金沢	工藤 貴博	1	48	県立大船工業技術	瀬戸 健太郎	1
16	県立六ツ川	国井 宏高	3	49	県立大和東	高野 順子	1
17	県立市ヶ尾	国頭 希穂子	1	50	県立新城	高橋 香葉	2
18	私立湘南工科大学付属	熊本 晃子	3	51	県立多摩	高橋 治子	2
19	私立相模女子大学	栗原 麻美	1	52	県立鶴見	高村 真代	1
20	県立多摩	黒澤 綾	3	53	県立神奈川工業	竹本 愛理	1
21	県立有馬	小菅 綾	1	54	川崎市立商業	田中 里佳	3
22	私立法政大学女子	小竹 由佳乃	3	55	私立富士見丘	檀市 里美	2
23	私立富士見丘	後藤 央子	1	56	県立有馬	塚本 耕平	2
24	県立六ツ川	後藤 潤平	2	57	私立麻布大付属淵野辺	教賀谷 聡	3
25	私立向上	小林 健	3	58	市立金沢	斗沢 清芽	2
26	県立有馬	小林 友葵	1	59	私立法政大学第二	豊田 幸美	2
27	私立法政大学女子	小林 美幸	1	60	県立永谷	鳥海 直大	2
28	県立有馬	齋藤 香奈子	2	61	市立戸塚	内藤 壘	2
29	県立有馬	齋藤 真純	1	62	捜真女学校	中川 茜乃	1
30	県立磯子	笹川 裕子	2	63	県立平塚江南	中野 沙帆子	2
31	私立湘南工科大学付属	佐瀬 綾乃	2	64	県立新栄	中山 恵里香	2
32	私立富士見丘	佐藤 麻里	2	65	私立法政大学第二	夏目 義大	2
33	私立鶴見女子	佐藤 裕美	2				

【創作テレビドラマ部門】

NO.	学校名	氏名	学年
1	日本大学藤沢	高橋 龍平	3
2	法政大学第二	平田 龍彦	3
3	日本大学	遠藤 美沙子	2
4	永谷	松尾 安紀土	2
5	神奈川総合	上原 和彦	3
6	麻布大附属淵野辺	清田 哲郎	2
7	多摩	森山 憲二	3
8	七里が浜	大八木 裕教	2
9	六ツ川	佐々木 弘康	2
10	東海大附属相模	小山 晋之	2
11	相模大野	山下 淳也	2
12	大和西	大槻 亮輔	2

【研究発表部門】

NO	学校名	氏名	学年
1	県立座間高等学校	鈴木 久美	2
2	県立多摩高等学校	井上 ひか梨	3
3	法政大学第二高等学校	山口 大輔	3



9

【朗読部門】

朗読課題 1.「伊豆の踊り子」 2.「神々の消えた土地」 3.「線路の果てに旅がある」 4.「絵のない絵本」 5.「たけくらべ」

(A会場)

No	学校名	氏名	学年	No	学校名	氏名	学年
1	私立法政大学第二	青木 颯	3	25	私立鶴見女子	本田 歩	2
2	県立相模田名	青山 直子	3	26	県立永谷	松尾 安紀士	2
3	県立磯子	秋葉 浩人	3	27	県立六ツ川	松川 裕子	1
4	県立神奈川総合	朝倉 智子	2	28	市立金沢	松永 恵美子	2
5	私立横浜女学院	麻生 摂子	2	29	市立戸塚	松村 真理	1
6	県立大和東	山本 和広	3	30	私立法政大学第二	三浦 隆志	2
7	県立横浜日野	荒木 光	1	31	県立柿生	宮 千晶	3
8	県立海老名	安西 望	1	32	市立戸塚	宮迫 崇	2
9	私立横浜女学院	飯沼 恵子	2	33	県立相模田名	武笠 くみ	2
10	県立有馬	石川 祐	3	34	私立相模女子大学	村主 瑛子	1
11	県立茅ヶ崎西浜	石山 翔大	3	35	県立海老名	森田 亜紀	2
12	県立新城	井尻 久美子	3	36	県立新城	森山 麻美	3
13	県立大師	伊藤 愛子	2	37	私立法政大学第二	矢島 健太郎	2
14	県立足柄	井上 阿沙子	3	38	県立新城	山川 佳洋	1
15	県立大和東	上村 朋代	1	39	私立法政大学女子	山口 麻衣子	1
16	県立横須賀	牛尾 友子	3	40	県立六ツ川	山下 翠	2
17	私立向上	薄井 敬介	2	41	県立相模大野	山下 淳也	2
18	県立座間	梅村 美樹	1	42	県立七里ヶ浜	阿部 裕樹	1
19	私立鶴見女子	大川 菜々子	3	43	私立横浜女学院	横山 恵美	2
20	県立金井	遠藤 憲利	3	44	県立海老名	吉岡 聖恵	2
21	市立南	大内 愛	1	45	県立金井	吉岡 寛文	3
22	県立座間	漆畑 亮	1	46	県立神奈川総合	吉川 舞	2
23	県立七里ヶ浜	大河内 日香里	2	47	私立日本大学藤沢	吉本 圭佑	2
24	県立多摩	大森 幸	3	48	県立永谷	鳥巢 佑香	1

(B会場)

No	学校名	氏名	学年	No	学校名	氏名	学年
1	県立座間	大貫 祝和	1	25	県立座間	和田 香織	3
2	私立日本大学	岡野 誠	3	26	県立大和西	中尾 美佳	1
3	私立相模女子大	尾上 晶代	1	27	私立東海大学付風相模	中野 有美子	1
4	私立麻布大学付属淵野	小野本 愛子	3	28	県立有馬	永濱 香苗子	1
5	県立二宮	海藤 ゆき	1	29	県立相模大野	中村 亮子	3
6	県立大和東	柏倉 晴樹	3	30	私立日本大学藤沢	中山 昇博	3
7	県立二宮	片倉 美由紀	1	31	市立金沢	並木 健	3
8	私立相模女子大学	小池 麻理絵	1	32	県立神奈川総合	西堀 朝子	2
9	私立法政大学第二	加藤 大樹	3	33	県立六ツ川	日置 秀馬	1
10	県立新栄	茅野 麻衣子	2	34	県立七里ヶ浜	新田 絃子	2
11	県立金井	菊地 かおり	3	35	市立金沢	野崎 奈緒美	2
12	私立鶴見女子	川端 美貴子	3	36	県立平塚江南	秦 典史	2
13	県立多摩	菊井 友美	1	37	市立戸塚	服部 靖子	1
14	県立有馬	川井 菜花	1	38	県立平塚江南	原 佑介	2
15	市立南	菊地 香織	3	39	県立大和東	遙山 梨恵	1
16	県立大和西	北岡 真由子	1	40	県立神奈川工業	西堀 雄介	3
17	市立南	木村 聡子	1	41	市立戸塚	平松 麻祐子	1
18	私立向上	木村 保貴	3	42	私立向上	福田 幹彦	3
19	県立海老名	釘貫 聖子	1	43	県立平塚江南	福永 佳子	3
20	県立東金沢	久保 千帆	3	44	市立南	藤崎 亜美	1
21	県立横須賀	熊野 有希子	3	45	県立市ヶ尾	藤城 枝美子	3
22	私立鶴見女子	小林 麻美	3	46	県立大和東	高橋 友美	1
23	県立二宮	小久米 裕子	1	47	県立新城	鈴木 典子	1
24	県立六ツ川	加藤 絢子	3	48	県立柿生西	堀 則秋	1

たけくらべ 1.2

後
建16

(43)

(C会場)

No	学校名	氏名	学年	No	学校名	氏名	学年
1	県立瀬谷西	小島 毛よか	3	25	県立磯子	鈴木 卓弥	3
2	川崎市立商業	高橋 博文	2	26	県立神奈川総合	鈴木 綾子	1
3	県立多摩	後藤 理恵子	3	27	県立永谷	藤本 あゆみ	2
4	県立柿生西	小沼 恵理子	2	28	県立神奈川工業	須藤 江里子	1
5	県立神奈川工業	桒 恵子	1	29	私立東海大学付属相模	小山 晋之	2
6	私立横浜女学院	小林 知尋	2	30	県立足柄	諏訪間 理恵	2
7	県立平塚江南	須藤 圭太	2	31	県立東金沢	相馬 英里	1
8	私立東海大学付属相模	近藤 明菜	1	32	県立大和西	高島 希代	2
9	県立座間	齋藤 愛	2	33	県立永谷	高橋 愛	2
10	県立大師	斉藤 幸也	2	34	私立日本大学	藤田 考輔	2
11	県立追浜	酒井 絢子	1	35	市立金沢	高橋 英樹	2
12	県立新城	坂本 之和	1	36	私立横浜女学院	小嶋 ユリカ	1
13	県立六ツ川	佐川 奈津美	3	37	県立柿生西	高橋 雄太	2
14	県立追浜	佐久間 珠理	1	38	県立豊田	立花 茜	3
15	県立海老名	佐藤 理梨子	1	39	私立法政大学女子	田中 菜里子	3
16	県立有馬	志田 裕一郎	1	40	県立相模田名	谷口 友美	2
17	県立市ヶ尾	芝 哲也	2	41	県立多摩	田部井 宏朋	2
18	県立相模田名	茂司 佳代	2	42	県立七里ヶ浜	田村 羽衣子	2
19	県立柿生西	白石 直輝	1	43	県立有馬	千葉 仁美	2
20	私立東海大学付属相模	白木 郁	2	44	県立多摩	津田 尚子	3
21	私立富士見丘	杉浦 裕可	2	45	県立大師	高橋 美香	1
22	県立横浜翠嵐	杉山 恵一郎	1	46	私立東海大学付属相模	飛沢 綾子	2
23	県立足柄	豊田 正義	1	47	県立神奈川総合	杉山 遙	2
24	私立法政大学第二	鈴木 智之	3				

【ラジオドキュメント部門】

NO.	学校名	氏名	学年
1	県立神奈川工業	川口 涉	3
2	日本大学藤沢	吉本 圭佑	2
3	県立六ツ川	加藤 絢子	3
4	法政大学女子	渡辺 かほり	3
5	県立相模田名	武笠 くみ	2
6	相模女子大高等部	木村 さやか	3
7	県立大和	高瀬 枝里子	3
8	法政大学第二	仁加保 徹	3
9	県立瀬谷西	新井 明絵	1
10	東海大学付属相模	武山 晋作	3
11	県立追浜	米山 恭平	3
12	県立平塚江南	小野 政一	3
13	県立永谷	飯塚 晃子	2
14	県立座間	山崎 秋則	3
15	向上	川野 雄二	3
16	県立金井	小島 将太	2
17	県立多摩	三浦 裕子	3
18	日本大学	森田 亮	2

【テレビドキュメント部門】

NO.	学校名	氏名	学年
1	大船工業技術	萩谷 武史	3
2	多摩	岡庭 智彦	1
3	神奈川総合	吉川 舞	2
4	磯子	許 明哲	3
5	大師	齋藤 麻美	3
6	六ツ川	河合 智史	2
7	日本大学	藤田 考輔	2
8	戸塚	青沼 祐美子	1
9	東海大付属相模	熊澤 正博	3
10	座間	齋藤 光	3
11	向上	松井 梢	3
12	相模女子大	石井 麻子	3
13	川崎市立商業	深水 一馬	2
14	法政大学第二	青木 寛	3
15	日本大学藤沢	竹田 洋祐	3

審査の観点

〈アナウンス部門〉

I. 審査の視点

1. 原稿 (30点)

(1) 素材の選び方 (2) 文章表現の確かさ (3) 内容の深さ

2. アナウンスの技術 (70点)

(1) マイクの使い方 (2) 発声及び発音 (3) アクセント

(4) プロミネンス (5) イントネーション (6) テンポ (7) ポーズ

II. 審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項 (特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)

2. 元気があって明るいのはよいが、いわゆるコンテスト調 (歌い上げる調子のもの) に高い評価をしない。自然で張りのある若々しいアナウンスを高く評価する。

〈朗読部門〉

I. 審査の視点

1. 原稿 (30点) (1) 作品の選び方 (2) 朗読部分の抜き出し方

2. 朗読の技術 (70点)

(1) マイクの使い方 (2) 発声及び発音 (3) アクセント (4) プロミネンス

(5) イントネーション (6) テンポ (7) ポーズ (8) 内容の把握

(9) 表現の仕方

II. 審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項 (特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)

2. 作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。自然で、深みがある朗読を高く評価する。

〈番組部門〉

I. 審査の視点

1. テーマ点 (50点)

2. 制作技術点 (50点)

(1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集

(5) 技術 (録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など)

II. 審査上の留意点

1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定 (コンテスト要項13) に抵触していないかどうか。

2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直ししたものでないかどうか。

3. 8 mm 映像や 16 mm 映像を主体としたり、放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

〈創作ドラマ部門〉

I. 審査の視点

1. 脚本点 (50点)

テーマを理解し、学校を取り巻く素材の中から適切なものを求め、効果的に表現しているか。

2. 制作技術点 (50点)

〈番組部門〉に同じ

II. 審査上の留意点

〈番組部門〉に同じ

〈研究発表部門〉

I. 審査の視点

1. テーマ点 (30点)

2. 実践や取り組みの程度 (40点)

3. 制作技術点 (30点) 〈番組部門〉に同じ

役員一覧

- | | | |
|---------------|---------|---------------|
| 1. 大会会長 | 渡辺 浩司 | (川崎市立商業高等学校) |
| 2. 大会副会長 | 長谷川 幸五郎 | (NHK横浜放送局) |
| 大会副会長 | 桜井 隆一 | (県立横浜港南台高等学校) |
| 大会副会長 | 国吉 卓 | (市立高津高等学校) |
| 3. 大会実行委員長 | 中津川 雅則 | (県立平塚江南高等学校) |
| 4. 大会総合審査委員長 | 渡辺 亨 | (県立川崎川崎高等学校) |
| 5. 大会総合審査副委員長 | 横須賀 真 | (県立柿生高等学校) |
| 大会総合審判副委員長 | 吉田 智彦 | (県立磯子高等学校) |
| 6. 大会実行委員 | 本田 博都 | (県立綾瀬西高等学校) |
| | 柴田 真理子 | (県立市が尾高等学校) |
| | 根岸 富男 | (県立金井高等学校) |
| | 後藤 宗治 | (県立神奈川工業高等学校) |
| | 畠山 純一 | (県立追浜高等学校) |
| | 海沼 茂男 | (日本大学藤沢高等学校) |
| | 北詰 昌敬 | (法政大学第二高等学校) |
| 7. NHKコンテスト担当 | 岡村 文和 | (NHK横浜放送局) |

審査員一覧

- ・◎印はチーフ、大会当日の変更（移動）がありますのでご注意ください。
- ・本選では、NHK特別審査員が「朗読部門」「テレビドキュメント・研究発表部門」に加わります。

総合審査委員長
 総合審査副委員長

渡辺 亨 (川崎市立川崎)
 横須賀 真 (県立柿生)
 吉田 智彦 (県立磯子)

アナウンス部門

< A会場 >
 ◎藤田 吉雄 (市立川崎商業)
 三宅 義人 (捜真女学校)
 海部 弘 (県立多摩)
 佐京 義将 (県立生田)
 杉山 俊夫 (横浜翠嵐)

< B会場 >
 ◎斉藤 克也 (横浜日野)
 岩間 秀夫 (県立百合ヶ丘)
 山田 克巳 (鶴見女子)
 井上 浩 (横浜女学院)
 佐々木 美和子 (市立川崎)

朗 読 部 門

< A会場 >
 ◎山崎 里見 (市立鶴見工業)
 阿武 泉 (富士見丘)
 平敷 和洋 (県立横須賀)
 中沢 邦治 (県立大和西)
 坂井 泰晴 (市立戸塚)

< B会場 >
 ◎杉浦 敏昭 (県立豊田)
 船橋 貞信 (湘南工大附属)
 井手 俊次郎 (県立海老名)
 北川 佳宏 (県立東金沢)
 下田 加容子 (県立座間)

< C会場 >
 ◎関 弘之 (県立大和東)
 内藤 哲也 (県立二宮)
 金子 安孝 (県立茅ヶ崎)
 小川 智彦 (サレジオ学園)
 相澤 秀樹 (麻布大淵野辺)

創作ラジオドラマ

< A会場 >
 ◎川口 修 (県立瀬谷西)
 岩崎 章 (県立新城)
 本藤 伸弘 (県立七里が浜)
 藤沼 総輔 (県立磯子)
 本 孝 (県立柿生西)

< B会場 >
 ◎井浦 洋 (県立六ツ川)
 小澤 元 (県立永谷)
 千葉 祥一 (県立白山)
 岡野 正之 (県立足柄)
 河本 慶子 (法政大学女子)

役員校・委員校 業務分担

〈役員校〉

- ・ 県立金井 : 根岸 富男
- ・ 日大藤沢 : 海沼 茂男
- ・ 県立市が尾 : 柴田 真理子
- ・ 県立綾瀬西 : 本田 博都
- ・ 県立追浜 : 畠山 純一
- ・ 県立神奈川工業 : 後藤 宗治
- ・ 県立平塚江南 : 中津川 雅則
- ・ 法政大学第二 : 北詰 昌敬

〈委員校〉

* 横浜

- ・ 神奈川総合高校 : 加藤 孝夫
- ・ 県立岸根高校 : 小島 容子
- ・ 横浜南高校 : 大黒 栄子
- ・ 日本大学 : 荒木 俊行

* 川崎・横須賀・三浦

- ・ 県立大師高校 : 小林 正英
- ・ 県立新城高校 : 木幡 悦子
- ・ 県立横須賀高校 : 平敷 和洋

* 湘南

- ・ 大船工業技術高校 : 金子 秀樹

* 北相・西湘

- ・ 向上高等学校 : 川村 新
- ・ 県立相模大野 : 杉本 潔
- ・ 相模女子大 : 角田 亨
- ・ 県立相模田名 : 石川 岩夫

〈業務分担〉

- ◎ 本部 : 県立綾瀬西、県立金井
- ◎ 受付 : 県立市が尾、県立追浜
- ◎ 掲示 : 県立平塚江南、日大藤沢
- ◎ 集計 : 県立神奈川工業、法政二高
- ◎ 審査補助

(予選)

- ・ アナウンス A : 横浜南
- ・ 朗読 A : 県立横須賀
- ・ 朗読 C : 日大高校
- ・ 創作ラジオドラマ A : 神奈川総合
- ・ 創作ラジオドラマ B : 相模田名
- ・ アナウンス B : 県立新城
- ・ 朗読 B : 県立大師

(本選)

- ・ アナウンス : 県立岸根
- ・ ラジオドキュメント : 大船工業技術
- ・ 創作ラジオドラマ : 相模女子大高等部
- ・ テレビドキュメント・研究発表 : 向上高校
- ・ 創作テレビドラマ : 日大高校
- ・ 朗読 : 県立相模大野

第47回 NHK杯高校放送コンテスト神奈川県大会 出場者一覧

2000年度

No	学校名	7ナカス	朗 読	ラジオコメント	テレビコメント	創作ラジオ	創作テレビ	研究発表	合 計
1	県立神奈川工業	1	3	1		1			6
2	県立横浜翠嵐	2	1						3
3	県立横浜日野	2	1						3
4	県立市が尾	3	2			1			6
5	県立金井	2	3	1		1			7
7	県立磯子	3	2		1				6
8	県立瀬谷西		1	1					2
9	県立東金沢	4	2						6
10	県立豊田	1	1			1			3
11	県立新栄	2	1						3
12	県立永谷	3	4	1		1	1		10
14	県立六ツ川	5 (4)	5	1	1	1	1		14
15	県立神奈川総合	1	5		1	1	1		9
17	横浜市立戸塚	4	4		1				9
18	横浜市立金沢	3	4			1			8
19	横浜市立南		4						4
20	私立富士見ヶ丘	3	1						4
22	私立捜真女子	3							3
23	私立鶴見女子	4	4			1			9
24	私立法政大学女子	5 (4)	2	1		1			9
25	私立日本大学	1	2	1	1	1	1		7
28	私立横浜女学院	2	5						7
29	県立鶴見	5							5
(横浜 小計)		59	57	7	5	11	4	0	143
30	県立多摩	5 (5)	5	1	1	1	1	1	15
31	県立新城	5	5						10
32	県立生田	2	0						2
33	県立柿生	1	1						2
34	県立柿生西	1	4						5
35	県立大師	3	3		1	1			8
36	市立川崎	1	0						1
37	市立川崎商業	3	1		1	1			6
38	法政大学第2	5 (4)	5	1	1	1	1	1	15
39	県立横須賀	1	2			1			4
40	県立追浜	2	2	1					5
(川崎・横・三 小)		29	28	3	4	5	2	2	73
41	県立平塚江南	2	4	1		1			8
42	県立大船工業技術	1			1	1			3
43	県立七里が浜		4				1		5
44	私立日大藤沢	3	2	1	1	1	1		9
45	私立湘南工科大附属	5							5
46	私立逗子開成	1							1
47	県立茅ヶ崎西浜		1						1
(湘南 小計)		12	11	2	2	3	2	0	32
48	県立座間	4	5	1	1	1		1	13
49	県立海老名	1	5			1			7
50	県立大和東	5	5						10
51	県立有馬	5	5			1			11
52	県立相模大野		2			1	1		4
53	県立相模田名	3	4	1		1			9
54	私立相模女子大高等部	5	3	1	1				10
55	私立東海大附属相模	4	5	1	1	1	1		13
56	私立向上	1	3	1	1				6
57	県立足柄	1	3			1			5
58	私立麻布大附属	1	1			1	1		4
59	県立大和			1					1
60	県立大和西	1	3				1		5
61	県立二宮		3						3
(西湘・北相 小計)		31	47	6	4	8	4	1	101
総合計		131	143	18	15	27	12	3	349

諸 注 意

1. 立入禁止区域には入らない、教室内の私物には手を触れないなど、あらゆる点で会場校に迷惑をかけないように考えて行動して下さい。
2. 審査中は静かにして下さい。特に会場内や廊下などは静かに。会場への出入りは、審査の合間にして下さい。
3. 作品、スクリプト等の受け渡し、著作権料支払い・手続きは各会場で行います。提出時間に遅れないように注意して下さい。
4. 放送台本、テープは出場1名、1本ごとに封筒に入れ、必要事項を記入して提出すること。
5. 出場順等は、プログラムで確認し絶対に遅れないこと。
6. アナウンス、朗読等の発生練習は、校舎外（噴水周辺）で行なって下さい。
また、アナウンス、朗読の出場者は早めに各会場で待機して下さい。
7. 飲食・昼食について
 - ・校舎内は基本的に飲食禁止です。飲食する場合は、指定された生徒控え室もしくは木月総合会館1階食堂でお願いします。
8. ゴミについて
 - ゴミは持ち帰ってください。**
 - ・どうしても持ち帰れないゴミは、食堂に分別して捨ててください。
9. 法政大学第二高等学校は、全館禁煙です。
(顧問の先生方、OB、OGの方もご協力ください)
10. 駐車場スペースがありませんので、法政大学第二高等学校へは、電車を利用してお越しく下さい。東急東横線・JR南武線「武蔵小杉」駅より徒歩7分くらいです。